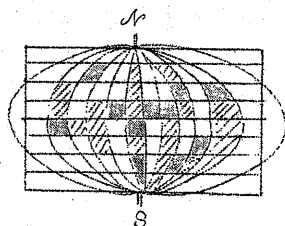


## 地理教室の片隅で

谷口とみ子



### その一

「ねえさみ、今日のゼミは誰？」「学部ゼミから連続じゃ長いなァ」「後半だけでるけしりがあるんだろ？」「いやつきあつた方がいいぜ」文科マンはだをおもちか、いつもはあまり教室にあらわれない人文の面々、ゼミの日には顔がそろつてとたんににぎやかになります。オトコノコつて素外オシャベリなんだなど大発見です。(これはソットお知らせします。)

### その二

「さあ買わないか、この本値打ものだけ」「3円」「7円」……「32円」「32円か、ずい分安い岩波新書だな」「じゃつぎ……」まことしやかにセリに立つているのは、こういう特殊技能(?)をおもちのAさん、まわりをとりまわっている学生一同、これは座席移動にともなう残品整理のある日。こうして時効になつた私物が処理され、棚は有効に使えるようになりました。そして売上金又円は???、ナイショ、ナイショ……

### その三

夏休みに入るがはやいか、それぞれ我がフィールドめざしてとび出していきます。そして時々、思い出したように日焼けした顔が学校へあらわれます。「こんな失敗があつたんでね」「今B君はC地にいるよ」「いや僕が山の反対側へおりて合流しようと思つているんだ、峠の上でまちあわせてね」「D峠の交戦か」「自然人文とりまぜてあちこちで基地が設営されています。そして基地間の交流もしばしば行なわれます。

### その四

この基地まわりは国内にかぎりません。先生方がしばしば「国際会議」にお出かけになりますので、留学中の先輩たち時々監督をうけているようです。地理については「旅の恥は……」ということは通用しない由、E先生の古戦場を、20年後になつた現在、F先生が探検なさつたという美談(?)も聞かれます。

これらよき仲間達と一諸に、議論をたたかわせたり、共同調査を行なつたりしながら、蔬菜農業における生産地形成の問題を勉強している私です。

一つの報告をまとめあげて、ますますこれからだという感をふかくしています。あまり長くなりますと、「そこで何を書いているんだ?」と大向うから声

がかかりそうですのでこのへんで筆をおきます。

(才六回生 東大大学院)

## フィラデルフィアから

塚越道子

諸先生を始め、各方面で御活躍の先輩の方々並びに研究に暇無き在校生の皆様、お元気でいらつしやいますか、お伺い申し上げます。

さて何か書けとの仰せですが、4日の余裕では不勉強の私に地理学的なお話は到底無理ですので、私のおります Philadelphia 四方山話でお許し下さいませ。

Philadelphia は Pennsylvania 州の東南端に位置し、人口約 22.8 万、面積 349.5 km<sup>2</sup> で New York, Chicago に次ぐ大都市だったが近年著しく発展を遂げた Los Angeles により 4 位たるを余儀なくされるに至った。New York 州に源を発する Delaware 川の西岸に当り、川は此処より約 120 km 南下し Delaware 湾に注ぐ、この川の対岸は New Jersey 州で Philadelphia と Camden 市を結ぶ橋は 480 m である。一方 Schuylkill 川が市内を蛇行し、Delaware 川に注いでいる。

Philadelphia はこの二河川の作った氾濫源の上にできた町で、従つて Tide level より低く、低湿地であつたが、現在堤防を築いている。殊に二河川に囲まれた地域は市の中心で、高度約 12 m、北～北東部に向け漸次高度を増し、なだらかに起伏する。市の最も高い所で約 152 m である。

Schuylkill 川の氾濫期は年に二度あり、激しい雷雨の後に時に 12 時間も続く事がある。又異常な高潮により、Delaware 川の逆流をみる事がある。水深約 10~12 m である。去年は稀にみる涼しい夏だつたというが、暮から今年にかけて 75 年ぶりの悪天候にみまわれ、連日最低気温が華氏でマイナスを続けた程であつた。積雪も一回に 30 cm は普通で、消える間無しである。一般に湿度は高く、降水量は年を通じ大體平均に分布する。

Philadelphia は William Penn と切りはなして考えられない、Philadelphia は Pennsylvania の首都であり Pennsylvania は Penn のものであつたからその由来について、次のような記録がある。